

彩の国エコアップ宣言

—環境負荷低減計画—

平成21年 10月20日

1 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

フリガナ カブシキガイシャ シマムラコウギョウ
会社(事業所)名称 株式会社 島村工業
代表者名 代表取締役 島村 健

(2) 所在地

住所 〒350-0127
埼玉県比企郡川島町大字牛ヶ谷戸489

(3) 環境負荷低減主任者及びその連絡先

環境負荷低減主任者 取締役 総管理部 統括部長 小山伊久三
連絡先 TEL 048-775-1111
FAX 048-771-5662

(4) 事業の内容

土木、建築、リニューアル事業の設計及び施工

※日本標準産業分類(細分類)	名称	一般土木建築工事業	番号	0	6	1	1
----------------	----	-----------	----	---	---	---	---

(5) 事業の規模

・資本金(全社) 4億6,800万円
・売上高 166億円
・主な商品 各種建設物
・従業員数 257名
・延べ床面積 —

(6) その他

・前年度の燃料等使用量の原油換算合計量 199 kL
・当社の事業年度は10月から翌9月としています。



2 環境方針

株式会社島村工業は経営理念・社訓に則り、全従業員が「創造—自然との調和、顧客の信頼と満足が得られる製品を提供する」為、統合マネジメントシステムを構築し、建設工事の事業活動を通じて、その実行と有効性の継続的な改善を図る為に以下の事項を実施します。

- ・事業活動に関する法律・規制及びその他の要求事項を遵守する。
- ・顧客ニーズを的確に捉え、要求事項に適合した構造物、製品を提供する。
- ・統合方針に沿った目的・目標の設定と実行、及び見直しを実施する。
- ・資源の省力化、廃棄物の低減及び適正処理、再生材を利用した合材の製造、リサイクルの推進等、環境負荷の低減並びに汚染の予防に努め、自然環境との調和を図る。
- ・継続的改善及び適切性の持続を図る為に、マネジメントレビューを行う。

全従業員及び協力会社へ教育・広報活動を通じて顧客要求事項を満たすことの重要性及び環境保全の意識向上並びに統合方針の周知徹底を図る。

(当社は環境・品質マネジメントシステムを複合した「統合マネジメントシステム」による、統合方針で掲示しています。)

3 環境負荷の現状

(1) 環境保全の取組のチェック(『取組チェック』)の結果

項目	①CO ₂ ・NO _x	②廃棄物	③大気・水質	④輸送	⑤化学物質	⑥節水・水
達成率	41.2%	66.7%	—	60.0%	—	16.7%

項目	⑦製品開発	⑧建築・開発	⑨グリーン購入	⑩環境教育	⑪エコビジネス	⑫その他
達成率	22.2%	66.7%	63.6%	69.6%	0.0%	13.3%

(2) 環境への負荷のチェック(『負荷チェック』)の結果

①必須項目

項目		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂ /年	—	645	664	618	571
原単位(従業員数当たり)	t-CO ₂ /人	—	2.0403	2.1973	2.1078	2.0324
項目		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成 年度	平成 年度
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂ /年	532	444	430		
原単位(従業員数当たり)	t-CO ₂ /人	1.9197	1.6996	1.6745		
項目		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
廃棄物処分量	t/年	—	8	8	7	8
原単位(従業員数当たり)	t/人	—	0.0265	0.0254	0.0254	0.0270
項目		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成 年度	平成 年度
廃棄物処分量	t/年	8	7	5		
原単位(従業員数当たり)	t/人	0.0284	0.0257	0.0188		

※廃棄物処分量は、廃棄物等発生量から減量化量と再資源化量を差し引いた値を記入してください。
 ※廃棄物処分量について「自己排出分」と「受託処理分」がある場合は、両者の合計値を記入してください。

②その他の項目(任意)

項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
水道使用量	m ³ /年度	—	1,683	1,641	1,540	1,605
原単位(従業員当たり)	m ³ /人	—	5.989	5.924	5.900	6.245
電力使用量	kWh/年度	436,700	428,039	416,775	426,887	356,241
原単位(従業員当たり)	kWh/人	1,490	1,523	1,505	1,635	1,386
コピー用紙購入量	t/年度	—	8.65	9.38	8.84	9.31
原単位(従業員当たり)	t/人	—	0.031	0.034	0.034	0.036

4 環境への負荷の低減目標

●二酸化炭素総排出量を昨年度(430t-CO₂)より1%削減(426t-CO₂)を重点目標とする。

- ①本年度の廃棄物処分量を過去5年平均値より1%以上削減する。
平均値⇒ 0.0263t/人 目標値⇒ 0.0260t/人
※現場は除き、上尾本社・川島本店・東松山営業所分で実行する。
- ②本年度の電気使用量を過去5年平均値より5%以上削減する。
平均値⇒ 1,517kwh/人 目標値⇒ 1,502kwh/人
- ③本年度の自動車CO₂排出量を前年度より1%以上削減する。
昨年値⇒ 261.4t-CO₂ 目標値⇒ 258.8t-CO₂

5 具体的な取組の内容

- ①廃棄物処分量1%削減
 - ・両面コピー/印刷、裏面利用を継続する。
 - ・両面使用紙は再資源化施設にて処分する。
 - ・社内会議等の配布資料等の電子化を促進する。
 - ・コピー紙利用率をデータ化する。(総カウンター数/コピー購入枚数×100)
- ②電気使用量5%削減
 - ・エアコンの温度設定は冷房28℃暖房20℃を継続する。
 - ・外気、昼光利用で自然温度調節を図る。
 - ・昼休み、不要時の消灯を継続する。
 - ・社員のエレベーター利用は必要時のみとする。
- ③自動車CO₂排出量1%削減
 - ・アイドリングストップの継続
 - ・停車時のニュートラル操作
 - ・低公害車の購入推奨

6 公表の方法

- ・場所 埼玉県上尾市緑丘3-4-25上尾本社1階受付で閲覧できます。
- ・日時 8:30~17:00(休業日を除く)
- ・連絡先 TEL 048-775-1111 総管理部
または当社ホームページで閲覧できます。
<http://www.shimamura-k.co.jp>

燃料等及び電気使用量の原油換算チェックシート

①欄に燃料等及び電気の前年度の使用量を入力してください。
 原油換算使用量の合計が計算されます。
 なお、1,500kℓ以上の場合には、条例の義務対象事業所であり、環境負荷低減計画(彩の国エコアップ宣言)を作成し、県へ提出するとともに、公表してください。

燃料等及び電気の種類				前年度使用量		③燃料等及び電気の 単位当たり発熱量	
				①燃料等及び電気使用量	②原油換算使用量		
燃料等	原油			kℓ(キロリットル)	kℓ	38.2 GJ/kℓ	
	うちコンデンセート(NGL)			kℓ(キロリットル)	kℓ	35.3 GJ/kℓ	
	揮発油(ガソリン)	社有車74.1通勤34.9として	109	kℓ(キロリットル)	97 kℓ	34.6 GJ/kℓ	
	ナフサ			kℓ(キロリットル)	kℓ	34.1 GJ/kℓ	
	ジェット燃料油			kℓ(キロリットル)	kℓ	36.7 GJ/kℓ	
	灯油			kℓ(キロリットル)	kℓ	36.7 GJ/kℓ	
	軽油	社有車9.6	10	kℓ(キロリットル)	9 kℓ	38.2 GJ/kℓ	
	A重油			kℓ(キロリットル)	kℓ	39.1 GJ/kℓ	
	B・C重油			kℓ(キロリットル)	kℓ	41.7 GJ/kℓ	
	石油アスファルト			t(トン)	kℓ	41.9 GJ/t	
	石油コークス			t(トン)	kℓ	35.6 GJ/t	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0.258tの使用	0	t(トン)	0 kℓ	50.2 GJ/t
		石油系炭化水素ガス			千m ³ (千立方メートル)	kℓ	44.9 GJ/千m ³
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)			t(トン)	kℓ	54.5 GJ/t
		その他可燃性天然ガス			千m ³ (千立方メートル)	kℓ	40.9 GJ/千m ³
	石炭	原料炭			t(トン)	kℓ	28.9 GJ/t
		一般炭			t(トン)	kℓ	26.6 GJ/t
		無煙炭			t(トン)	kℓ	27.2 GJ/t
	石炭コークス			t(トン)	kℓ	30.1 GJ/t	
	コールタール			t(トン)	kℓ	37.3 GJ/t	
	コークス炉ガス			千m ³ (千立方メートル)	kℓ	21.1 GJ/千m ³	
	高炉ガス			千m ³ (千立方メートル)	kℓ	3.41 GJ/千m ³	
	転炉ガス			千m ³ (千立方メートル)	kℓ	8.41 GJ/千m ³	
	その他の燃料等	都市ガス※1	東京ガス(13A)	(46.0MJ/m ³ :~H18/2/20)	千m ³ (千立方メートル)	kℓ	46.0 GJ/千m ³
				(45.0MJ/m ³ :H18/2/21~)	千m ³ (千立方メートル)	kℓ	45.0 GJ/千m ³
			上記以外の都市ガス		千m ³ (千立方メートル)	kℓ	GJ/千m ³
		蒸気(産業用)			GJ(キカジュール)	kℓ	1.02 GJ/GJ
		蒸気(産業用除く)			GJ(キカジュール)	kℓ	1.36 GJ/GJ
		温水			GJ(キカジュール)	kℓ	1.36 GJ/GJ
		冷水			GJ(キカジュール)	kℓ	1.36 GJ/GJ
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時 上尾+川島+東松山)		356	千kWh(千キロワット時)	92 kℓ	9.97 GJ/千kWh
		夜間(22時~翌日8時)			千kWh(千キロワット時)	kℓ	9.28 GJ/千kWh
	その他	上記以外の買電			千kWh(千キロワット時)	kℓ	9.76 GJ/千kWh
原油換算使用量合計				199 kℓ			

【注意】

※1 都市ガスについて、東京ガス(13A)以外のガスの供給を受けている方は単位当たりの発熱量について、ガス供給会社にお問い合わせ確認のうえ、発熱量千万kJを原油0.258kℓとして換算してください。